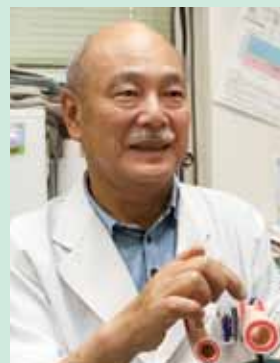


表 特定健診が受けられる医療機関一覧（市内分）

医療機関名	住 所	電話番号
石橋医院	新町 54	72・3176
永江医院	本町 4-2	72・3146
二宮医院	本町 20	73・2600
くろだ整形クリニック	大浜町 287-1	72・1111
わたなべ内科クリニック	矢加部 218	72・1636
いくしま医院	田脇 754-3	73・3411
西村医院	立石 906-1	72・0712
町野医院	新船津町 16	72・2246
まつなが内科クリニック	鬼童町 49-1	72・5711
江頭整形外科医院	本城町 117-6	73・8480
甲斐田医院	西浜武 1073-1	72・3435
金子病院	久々原 65	73・3407
龍外科医院	宮永町 27-2	72・2100
よこち小児科医院	上宮永町 131-1	72・1800
おかベクリニック	下宮永町 151-3	74・5030
長田病院	下宮永町 523-1	72・3501
大城医院	矢留本町 30	73・2427
益子医院	茂庵町 4	73・2053
藤吉クリニック	中町 18	74・4025
弓削クリニック	間 651-1	73・8400
柳川病院	筑紫町 29	72・6171
星子ひさし整形外科	久末 632-2	74・5566
津末医院	久末 809-1	72・2516
松尾医院	白鳥 486-1	72・2842
星子医院	下百町 44	72・0123
鎌田外科病院	高畑 263-1	72・7171
川口内科医院	高畑 293-1	73・2007
やなかわ星子クリニック	柳河 419-6	72・0835
古賀医院	柳河 815	72・2207
井口こどもクリニック	今古賀 49-3	72・1888
三橋長田医院	今古賀 213	72・4171
吉田医院	垂見 556	74・0550
河口医院	蒲船津 56-2	74・1677
村石循環器科・内科	蒲船津 370-1	73・0099
森田整形外科医院	藤吉 475-5	72・5679
溝上整形外科医院	塩塚 643-1	76・1234
内田医院	塩塚 721	76・3003
横尾医院	中島 496-2	76・0811
藤野医院	中島 1054-2	76・0011
千蔵医院	鷹ノ尾 534-3	76・1854
津留医院	豊原 130-9	74・5099

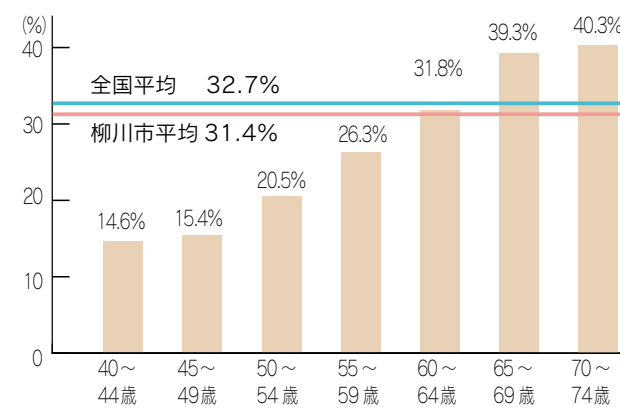
生活習慣病に自覚症状なし 年に 1 度は体のチェックを



柳川山門医師会
地域保健担当理事
石橋 興一 医師

多くの人は体調が悪くなってから病院に行きます。しかし、動脈硬化や糖尿病などの生活習慣病には、自覚症状がありません。体の異変に気付いて、自分の足で病院へ行ったときにはもう遅いかもしれないのです。特定健診の対象になっている人は、少なくとも年に 1 度、体の状態をチェックしてください。特定健診はその絶好の機会です。40 代などの若い人でも、動脈硬化による脳卒中や心筋梗塞で突然死する人がいます。若くて自分の体に自信があっても、年に 1 度は受診してください。

■ 柳川市の特定健診年代別受診率（平成 23 年度）



医師会と連携し受診率アップを目指す計画書を策定

市は、25 年度から 29 年度までの 5 年間の計画期間とした、第 2 期特定健診等実施計画を 3 月に策定しました。同計画は、29 年度の特定健診受診率を 60%、特定保健指導を 60% に目標を設定。目標達成のため、未受診者宅への訪問や、柳川山門医師会と連携して、医療機関から対象者へ受診を勧めるなどの方策を盛り込んでいます。

特定健診の問い合わせは、市健康づくり課国民健康保険係（☎77・8506）、がん検診と特定保健指導の問い合わせは、同課健康係（☎77・8536）へ。

専門スタッフが生活習慣の改善をサポート

特定健診の結果、生活習慣病になる危険性の高い人には、特定保健指導を受けてもらいます。特定保健指導とは、生活習慣の改善をサポートするもの。生活習慣のどこを見直し、どう改善していけばいいのかを、市の保健師や看護師、管理栄養士がアドバイスします。

※定員になり次第締め切ります。

日、22 日、8 月 19 日▽まほろばやまと 6 月 30 日▽昭代公民館 7 月 1 日▽東宮永公民館 7 月 7 日▽サンブリッジ 8 月 18 日、9 月 16 日▽垂見コミュニティセンター 8 月 24 日

市の国民健康保険に加入している皆さん

特定健診を受けるのは「毎年」でしょう

6 月から 11 月まで実施 今年も特定健診へ行こう

生活習慣病は 予防できる病気

生活習慣病とは、食べ過ぎや運動不足、喫煙など、長年の生活習慣による内臓脂肪の蓄積が原因で引き起こされる病気です。内臓脂肪が必要以上にたまる、傷付いた血管を治す作用がある物質の働きが弱くなります。すると、体に悪い物質の働きが強くなって、メタボリックシンドロームになりやすい体になってしまいます。これを放置していると動脈硬化が進み、心臓病や脳卒中などの生活習慣病になる危険性が高くなってしまいます。

活を送っていれば予防できる病気なのです。そのため、自分の生活習慣と体の健康をチェックすることが大切です。

若い世代ほど低い特定健診の受診率

平成 23 年度の市国民健康保険に加入している人の受診率は 31・4%。目標の 58% に届かず、全国平均の 32・7% をも下回りました。

受診率は、40 歳から 44 歳が 14・6% と最も低く、年齢が上がるにつれて受診率が高くなっています（左図）。

市は、昨年度から、市国民健康保険に加入し、今年度 40 歳と 63 歳を迎える人を対象に、1000 円の受診料を

今年も 6 月から特定健診が始まりました。特定健診は、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した健康診査。内臓脂肪の蓄積などを調べることで、心臓病、脳卒中などの生活習慣病を予防することが目的です。年に 1 度の特定健診を受けて、生活習慣と体の健康をチェックしましょう。



事前に予約して特定健診へ質問票の記入に協力を

特定健診の対象者は、市国民健康保険に加入している 30 歳から 74 歳（昭和 13 年 7 月 1 日～59 年 3 月 31 日生まれ）の人です。特定健診を受けるときは、事前に予約して、5 月下旬に郵送した健康診査受診券と国民健康保険証、受診料 1000 円を持って受診してください。

また、健診会場での混雑解消などを目的に、今年度から特定健診の受診券に質問票を設けています。事前に記入して、会場へ持ってきてください。なお、当日は朝食を取らないでください。

● **医療機関での受診（施設健診）**
受診する医療機関に事前に予約してください。

▽ **受診期間** 6 月 1 日～11 月 30 日

▽ **医療機関** 左ページの表を参照

● **がん検診会場での受診（集団健診）**
市健康づくり課健康係で予約を受け付けています。社会保険などの扶養に入っている人や後期高齢者医療被保険者も、次のがん検診の会場で、特定健診が受診できます。

▽ **実施会場・日時** ▽水の郷 7 月 16